

2020年度_事業報告書

1.ことばとは

1.目的

災害や少子化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

2.ビジョン

「自分の人生を1からデザインする楽しさであふれる社会」

3.ミッション

「本音で生きられる若者を増やす」

4.目標

- 1.大学生を対象にしたイベント企画、コーディネートの実施
- 2.大学生を対象にしたキャリア支援の実施
- 3.活動に参加した小学生から高校生を対象に学習/キャリア支援の実施
- 4.賛助会員、マンスリーサポーター制度の整備
- 5.スタッフ、理事、監事、顧問のコミットで組織体制を強化

2.組織運営について

1.総会開催

2020年5月15日（金）2020年度の通常総会を開催。

2019年度の決算と事業報告、2020年度の予算と事業計画を決議した。

2.理事会開催

今年度は下記の4回理事会を開催した。

第1回理事会 2020年5月15日（金）

第2回理事会 2020年 8月 1日（土）

第3回理事会 2020年11月6日（金）

第4回理事会 2020年2月19日（金）

3.事務局体制

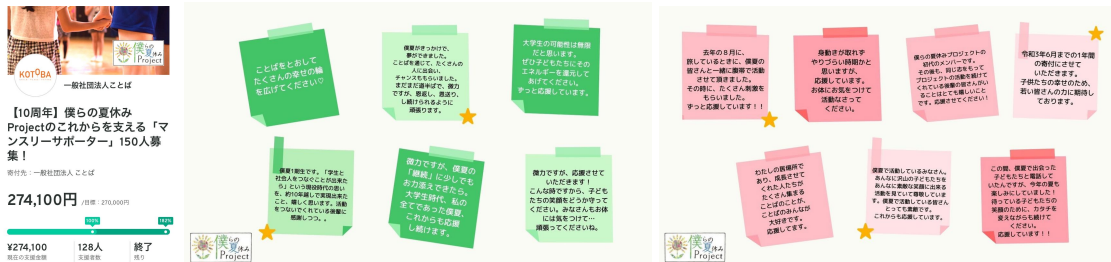
理事兼スタッフ1名（無償）と学生スタッフ4名（無償）体制で業務を行なった。

4. ボランティア

2020年度3月末時点の大学生ボランティア登録者数は、292名。

5. マンスリーサポーター

2020年度3月末時点サポーター62名。



名称：サポーター座談会

日時：2020年12月4日19:30-21:00 6日16:00-17:30

場所：オンライン

参加：5名



名称：サポーター新年会

日時：2020年1/21 19:30-21:00

場所：オンライン

参加：6名



6. マスコミ掲載

1. メディア掲載実績 1件

2020年

11月23日 Re・rise News 代表理事谷田川雅基が掲載

2. 事業詳細について

1.ロールモデル提供事業

目的：家庭や学校では教えてもらえない生き方、進路選択を中心にYouTubeを使って発信し、住んでいる場所に関係なく子ども若者の成長の一助となることを目指す。

テーマ：スタッフ紹介、ミライのアンテナ、僕らの夏祭り、その他

チャンネル登録者数：173人

再生回数：7,249回

再生時間：212時間

投稿本数：18本（合計）

- 1.スタッフ紹介 3本
- 2.ミライのアンテナ10本
- 3.僕らの夏祭り 4本
- 4.その他 1本

2.キャリア支援事業

(1)新入社員と大学生の交流

名称：みんなええやんプロジェクト!

狙い：内定者や新入社員向けの研修とことばの大学生キャリアサポート

日時：2020年11月8日（日）9:00~17:00

場所：神奈川県大和市（泉の森公園）

参加：21名（児童：9名&大学生：12名）

事前：17回の会議、リハーサル等を実施

当日：イベントの開催は事前に同意書をもらい、感染拡大防止対策をしながら開催した。



(2)キャリアサポートイベント

4年生少しだけ語っちゃっても良いですか。

目的：大学4年生から後輩へキャリアや進路等について話し後輩の不安を解消する。

日時：①2021年2月20日（土）20:00~22:00

②2021年2月23日（火）18:00~20:00

場所：オンライン（Zoom）

参加：23名（①16名 ②7名）

事前：5回の会議を実施

成果：イベント前後で何かしらの変化があった。100%

アンケート回答（抜粋2回分）

- ・将来の選択肢は広い、チャンスは沢山あることに改めて気付けた。
- ・先輩たちが大切にしている言葉を聞いて、自分も大切にしたいと思える言葉で、今後僕夏を続けていく中で意識していきたいと思いました。
- ・悩んでいた将来のことを、先輩方の目線でお話していただき、またそれぞれの状況・心情からこの先の進路を考えていらしたので、自分のこの先のあり方について、自信をもてる部分が増えたり、参考にするべき部分を沢山吸収出来ました。
- ・僕夏の先輩の存在をリアルに感じることができて安心しましたし、前向きな気持ちになりました。先輩方から「楽しい！好き！」という気持ちや、人との繋がりを大切にする気持ちなど色々な想いを受け取らせて頂けて、私も先輩方のようになりたいと思いました！



(3)キャリアサポートイベント

仲間をつくろうの会

目的：個人として現状に合わせどう主体的に動いて仲間を集めていくか？を考える。

日時：2021年3月31日（土）19:00~21:00

場所：オンライン（Zoom）

参加：9名



(4)オンライン家庭教師サービス

（僕夏せんせい！）

背景：受益者との距離が遠く単発のイベントのみの関係になってしまっていた。

目的：受益者と大学生ボランティアが距離に関係なく交流できる仕組みを作る。

目標：①365日交流できる場

②勉強をサポートして自己肯定感の向上

③将来に夢や希望を持てるように進学、就職をサポート

内容：勉強サポート、進学相談サポート

料金：8,000円～13,000円

参加：0名

今後：無料体験&申し込みともに0名だったことから内容を大幅にリニューアルする。

個別指導から集団での学習サポートに変更し料金も半額程度で準備している。

名称も僕夏せんせいから僕らのまなびばに変更し2021年9月のリリースを予定している。

3.教育評価軸の作成活用事業

4.イベント企画コーディネート事業

(1)僕らの夏休みProject

目的：災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

日程：2020年8月1日～8月31日

方法：オンライン会議ツールZoom

児童数：15名

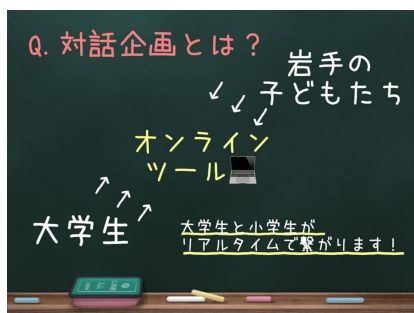
大学生：320名

事前準備：説明会、オリエンテーション、研修を開催しボランティア大学生が参加

内容：小学校ごとに開催日をずらして、子ども達が参加を促した。

学校によっては配布自体を断られたこともあり残念だったが校長先生の異動によるチャンスは来年度以降も十分にある。

今後：これまでは、大学生が小学校に行っていたため、平日昼間の開催でも大丈夫であった。むしろ、仕事のある保護者にとっては見守り要素も持っていた。しかし、オンラインで実施した今年度は、通信環境やデバイス等の問題があり、土日開催を望む声が多くあった。また来年度は、リアルの代替としてのオンラインではなく、オンラインコンテンツとして独立したコンテンツになるように事前に検討する。



(2)僕らの夏祭り

目的：少子高齢化や災害における人口流出等で希薄化してしまった地域の再生と子どもを地域で育てる出会いの場として各地域ごとに祭りを実施する。継続的な活動にするため現地実行委員会を組織し活動する。流出している人口層の大学生が関わることで関係人口の拡大を目指す。

日程：2020年8月

場所：YouTube（動画コンテンツ）

内容：子ども達が気軽に制作できるものを動画でわかりやすく紹介した。

今後：僕らの夏休み同様に新型コロナウイルスの影響でオンラインでの代替企画となってしまった。大学生ボランティアが工夫してコンテンツを制作したが、祭りには人が集まることの価値が大きいことに気づいた。来年度は、感染症対策を実施した上で祭りを実施する。

▼えんがわ市

目的：豊島区の地域/近隣住民との関係性を構築することで、今後の活動対象地域とする。

目標：大学生ボランティアの活動場所拡大、イベントの検証

場所：池袋第二公園

内容：フリマ開催、その他

主催：としまNPO推進協議会とのコラボ

頻度：毎月第二日曜日

今後：来年度は各種体験プログラムの研修として活用する。

(3)僕らの出張ミライ会議

目的：高校生の進路選択における経済的負担（オープンキャンパス等）を軽減し、多彩な選択肢から心が動く選択肢を高校生自身が見つかる。リアルな「先輩の声」で不安を解消することで高校生の有意義な進路選択の一助となることを目的とする。

日時：2021年3月（オンライン）

内容：対話企画、配信企画を実施

参加：3名

対象：宮古市内の高校生（宮古北高校、宮古商業高校、宮古工業高校、宮古水産高校）

今後：宮古市教育委員会の後援を申請しなかったことで、チラシを断れた学校があった。そのため、来年度以降は関係のある機関に後援申請するとともに連携を強めていく。

また、参加者数も増えていないことからニーズ調査を実施して、ミスマッチがないように企画をブラッシュアップする。また、冊子や本に進路や生き方選択についてまとめて継続的にサポートする仕組みを構築する。



(4)おおくまハチドリプロジェクト

目的：10周年に際し活動のきっかけである東日本大震災を新たな角度から考察するため
新しい地域への活動規模拡大のきっかけにするため

本格的な企画立案の経験によりことばの活動（僕夏など）の企画力を充実させるため

受託：株式会社Oriai（主催）

日程：2021年1月22日 事前勉強会

2021年2月13日 事前見学会

2021年3月5日 発表会

場所：福島県大熊町

内容：震災復興や地域活性化などに興味がある学生を発掘・募集し、大熊町の町役場職員の方との対話・交流や、大熊町の現地調査・取材を通して、企画アイデアをまとめ、発表会を行う。

今後：今年度は、ことばから11名の大学生ボランティアが参加した。来年度も継続が決まっている企画のため今年度以上の参加者獲得を目指す。さらには、受託事業だけでなく

**全国から集まった
大学生56人が、
本気でおおくまの
未来を考えました。**

おおくまハチドリプロジェクト
企画発表会

日時：3/5 (金) 時間：13:00~16:15
場所：大熊町役場 ●多目的ホール ●大会議室

～プロジェクト名の由来～
おおくまハチドリプロジェクトは、おおくま町に、おおくまの未来を考えた学生が、おおくまの未来を考えた。おおくまの未来を考えた。おおくまの未来を考えた。

詳しくは裏面へ！

コンテスト概要

タイムスケジュール

●大会議室 (2階)		●多目的ホール (1階)	
13:00-13:15	この日のzoom開催ははこちら！ 大会議室(Zoom) [031-8440] 会議コード: 284859	この日のzoom開催はこちら！ 多目的ホール (Zoom) 0305-9404 会議コード: 163819	
13:30	13:34-14:00 オープニングコンテンツ	13:30	13:34-14:00 オープニングコンテンツ
13:45	14:00-14:15	13:45	13:45
14:15	14:30	13:50	14:00
14:30	14:45	14:10	14:20
14:45	15:00	14:20	14:30
15:00	15:15	14:30	14:40
15:30	15:45	14:40	14:50
16:00		14:50	15:00

全国から集まった大学生56人が、本気でおおくまの未来を考えました。

5.目的達成に必要なイベント/セミナー等の企画/開催事業

6.その他前各号の目的に資するために必要な事業